

WAFCAホッとニュース

★第162号★ 2018/2/28発行



〈発信〉認定NPO法人アジア車いす交流センター(WAFCA)
住所 〒448-0834 愛知県刈谷市司町1-2 ふれあいプラザゆきそう内
TEL 0566-23-5822(内線5990-200) FAX 0566-23-5827(内線5990-900)
E-mail ZC8WAFCA@denso.co.jp URL <http://wafca.jp> もチェックを!

WAFCAへの
連絡はこちらか
らどうぞ。

☆☆☆ 目次 ☆☆☆

1. タイ 北部ランパン県
自宅&学校バリアフリー工事のご報告
2. タイ 車いすダンス フォロー調査のご報告
3. 事務局からのお知らせ
1) 2017年ご寄付の領収書を発行しました
2) 書き損じハガキのご寄付をお願いします
追悼 WAFCA イトネア ヘルパー理事長とのお別れ



1. タイ 北部ランパン県 自宅&学校バリアフリー工事のご報告

WAFCAは障がい児やその家族が安全で安心して生活や勉強ができるようにとの願いから『バリアフリー活動』にも力を入れています。皆さんは2016年度に自宅のバリアフリー化支援を行った「ディアさん」と「ピムさん」を覚えていますか?今年1月に行ったフォローアップ訪問での2人の近況と追加支援についてご報告します。

①サロチャー・ジャンタチャイさん (愛称ディアさん、18歳)

ディアさんには2年前に新しい車いすを寄贈しました。同時に皆様からいただいた寄付で自宅のバリアフリートイレと表通りまでの通路を設置しました。スタッフが初めて自宅を訪れた時、家には車いすが4台ありましたが、1台も身体に合わず使われていませんでした。車いすも使えず、高齢で体調があまりよくないお祖父さんが面倒を見ていたため、当時一年以上も外出しておらず、壁もない自宅建屋1階のコンクリートの床に敷いたゴザの上で毎日過ごしていました。

昨年お祖父さんが亡くなったため、出稼ぎにいていたお祖母さんが戻ってきて、ディアさんの面倒を見ながら生計を立てています。お祖母さんは仕



WAFCAT理学療法士(左)によるチェック



新しく支援した小部屋



訪問したWAFCAT理事長(右)とともに

事中にディアさん1人を吹きさらしのスペースに残すことになりとても心配していましたが、成長したディアさんを2階まで抱きかかえて上り下りすることはできませんでした。そこで今年1月、新たに1階の一角に小部屋をつくることにしました。1月末に再訪問した時には外壁は完成し、内壁の塗装待ちでした。完成後はベッドを運び込む予定です。訪れたWAFCATスポンタム理事長からも励ましの言葉をもらい、ディアさんたちはとても嬉しそうでした。

②ピンパー・チュアウォンカムさん (愛称ピムさん、13歳、小学4年)

昨年度はピムさん宅のトイレをバリアフリー化したのですが、その時、学校にもバリアフリートイレがほしいとリクエストがありました。しかし、当時通っていた小学校が統廃合されるかもしれない状況だったため支援を延期していました。昨年5月に学校が統廃合となり、ピムさんは今年度から別の小中併設校へ通っています。他の子どもたちはスクールバスで通っていますが、ピムさんは特別に自宅まで送迎をしてもらっています。そのため



学校のバリアフリートイレ完成式典



完成したバリアフリートイレで

倍の費用がかかるので、WAFCAの教育支援基金でサポートしています。今年度は現在ピムさんの通う小中併設校へバリアフリートイレを支援しました。1月26日の完成式典で、ピムさんは来賓や生徒の前で「完成したバリアフリートイレはとても使いやすいです。支援してくれた皆さんありがとうございます」とスピーチしてくれ



全校生徒の前で理事長よりインタビューを受けるピムさん



車いすの介助体験をする生徒たち

ました。式典終了後は全校生徒向けのバリアフリー教室を開催しました。クイズやゲーム実際に車いすに乗ったり、目隠しして介助体験を行う等生徒たちにとって、障がいを学ぶ機会となりました。ピムさんは13歳ですが、小学校への入学が遅れたため、まだ小学4年生です。これから5年間この学校で中学を卒業するまで勉強したいと考えています。

2. タイ 車いすダンス フォロー調査のご報告 (2/19~20)

9月にあいおいバンコク様からの御寄付、タイ障害児財団の協力の元に実施したタイ車いすダンスキャンプ。その後どのような変化があったかフォロー調査をしました。今回の調査は、WAFCA理事の寺田恭子先生の他、鈴木伸治教授(常葉大学)、里中綾子特任助教(名古屋大学)、



タイ障害児財団で車いすダンスをする皆さんと全員での記念写真

寺田泰人教授(名古屋経済大学)も同行されました。初日にはタイ障害児財団を訪問し、9月のダンスキャンプ参加者へアンケート、キャンプ後のダンス実施の有無や反応を確認しました。参加14家族中12家族から回答を得て、6家族が自宅や財団で車いすダンスを実施していることがわかりました。また今回はAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」にも合わせてダンスをしました。その後サムットプラカーン県特殊教育センターやノンタブリー県シーサンワン特別支援学校などを訪問し、車いすダンスのデモンストレーションも実施。各所で初めての体験にとっても楽しそうな様子が見られました。特にノンタブリー県シーサンワン特別支援学校では、WAFCAの奨学生ポール君もダンスに参加しました。今回の調査をもとに、車いすダンスの「楽しい！」をさらに進めて行けたらと思います。



車いすダンスに参加するポール君(右)

3.事務局からのお知らせ

1)確定申告お忘れなく(～3/15 まで)

2017年にいただいた賛助会費および、教育支援基金、ご寄付は所得控除の対象となります。申告には住民票と同じ住所が記載されている「寄付金受領証明書」が必要です。(WAFCAから送付済)

手続きに関してご不明点はWAFCAまでご連絡をお願いします。

<WAFCA事務局連絡先>

電話：0566-23-5822

内線：5990-200(デッソ-社内より)

Eメール：ZC8WAFCA@denso.co.jp

確定申告はご自宅のパソコンからでもお手軽にできます。パソコンでの申告方法は下記URLを参照下さい。

http://wafca.jp/donation/180109_PC

[kakuteishinkoku018.pdf](http://wafca.jp/donation/180109_PC/kakuteishinkoku018.pdf)

ご不明点は担当 増田(マシタ)まで



2)書損じハガキのご寄付お願い

書損じハガキを切手に交換して、郵便代として利用させていただいています。もしハガキがお手元に余ってしまいたらぜひご寄付くださいね！送付方法は事務所への持ちこみ、デンソー社内メール便(〒1030)、郵送等をお願いします。場所によっては取りに伺うことも可能です。ご連絡をお願いします。



不要な切手もお待ちしています

追悼 WAFCA インドネシア ヘルー理事長とのお別れ

WAFCAI理事長のヘルー・スダルヤント氏が2018年2月2日、肝臓がんのため57歳でご逝去されました。ヘルーさんはDENSOインドネシアの安全健康管理・CSR統括マネージャーとして、WAFCAIの設立準備段階から支援者のネットワークづくり、障がい者への理解活動にご尽力いただきました。



WAFCAI 理事長(前中央)とともにヘルー理事長(右)

昨年12月、DENSOインドネシアを定年退職後、「これからは家族との時間を大切にしながら、WAFCAI理事長職に専念していく」と話していた矢先に病気が発覚。入退院を繰り返しながらもいつもWAFCAIのことを気にかけてくれていました。WAFCAI設立から3年、これまでの歩みを振り返ると、どんな場面にもヘルーさんがいてくれたことを思い出します。これからもヘルーさんの意志とともにWAFCAIの活動を1つ1つ大切にしていきたいと思っています。



闘病中でも車いす寄贈や車いす組立ボランティア活動に尽力されたヘルー理事長